



## 8月1日～15日の活動報告

### ●2022年度 北陸新幹線早期全線開業実現大阪協議会

日時：8月1日(月)

場所：リーガロイヤルホテル(大阪)

主催：北陸新幹線早期全線開業実現大阪協議会

大阪府や大阪市、関西経済界で作る「北陸新幹線早期全線開業実現大阪協議会」が大阪市内で大会を開催し、当会からは金井会長が出席した。

2023年度当初の敦賀以西着工などを国に働きかけることを決議し、吉村洋文大阪府知事からは、東西2極のうち1極として関西が成長する上で早期全線開業が重要だと強調された。また来賓として出席した建設促進同盟会会長の杉本達治福井県知事からは、年内の予算編成に向け、「大阪の皆さんに引っ張っていただき、北陸、信越地域で押し出し、沿線の力を政府与党に示していきたい」と力強く訴えた。



(担当：小玉)

### ●北陸デスティネーションキャンペーン第1回実行委員会

日時：8月2日(火) 15:30-16:30

場所：富山県美術館

北陸新幹線敦賀開業後の2024年10～12月に北陸三県で実施される「北陸デスティネーションキャンペーン(DC)」に向け富山県、石川県、福井県、各県観光連盟・推進機構、西日本旅客鉄道(株)、北陸経済連合会で構成される実行委員会が開催され、当会からは東田専務理事が出席した。

富山県地方創生局南里局長の挨拶では、「まずは北陸三県の県民や観光関係者がお互いに各県の観光の魅力を理解し、北陸としての一体感の醸成を図ることが大切である」と述べた。

西日本旅客鉄道金沢支社長の漆原理事から「敦賀延伸の開業効果が落ち着く秋に実施することで、ブームを一過性でない持続的なものになりたい。そして大阪までの延伸へとつなげていきたい」と述べた。



(担当：小玉)

### ●女性活躍推進ワーキンググループ

日時：8月2日(火) 10:30-12:00

形式：オンライン

参加者：11名

これまでの有識者や北陸三県に加え、今回は新たに会員企業の人事実務者をメンバーに迎えて意見交換した。

北経連では会員企業の「えるぼし認定」取得を推奨している。「えるぼし認定」とは、女性活躍推進の取組みが一定基準を達成した企業を厚生労働省が認定する制度である。北経連では、行政による企業の支援事業や助成金等の情報を提供し、意識改革のための講演会等を開催している。えるぼし認定取得をさらに促進するための課題について、闊達な意見交換がなされた。

三県からは工夫をこらした施策の紹介があり、企業がさらなるステップアップを目指すような機運醸成の必要性の指摘があった。

企業メンバーからは、各社で尽力してきた取組みについて紹介があった。全社的な働き方改革、制度の整備と同時に、女性が自分のキャリアを自律的に築いていけるような育成の重要性についても言及があった。

女性活躍の推進がイノベーションを生み、企業の成長やブランド向上につながるということを浸透させることが重要であり、北陸全体で連携して機運を盛り上げていくことを確認した。

(担当：日野)

### ●北陸新幹線建設促進石川県民議会 令和4年度総会

日時：8月6日(土) 11:00-12:00

場所：石川県地場産業振興センター

北陸新幹線建設促進石川県民議会が金沢市の石川県地場産業振興センターで開催され、当会からは金井会長が出席した。2024年春の金沢―敦賀開業と、敦賀以西の23年度当初の着工と大阪までの早期全線整備を求める決議を採択した。

会議名誉会長である馳石川県知事からは「敦賀開業から間を空けず『以西着工』に入る予算を概算要求につけることが大きなポイントである」と強調した。次に登壇された会長の安宅建樹県商工会議所連合会会長も「今年は正念場の一年であり、概算要求に敦賀以西が入ることが一番大事だ」と述べられた。当会金井会長からも同様の認識を示され「関西の経済団体や北陸三県と緊密に連携し政府に力強く要請していく」と述



べられた。

(担当：小玉)

### ●北陸新幹線建設促進同盟会等合同中央要請

日時：8月8日(月) 10:30-16:45

場所：財務省、衆議院第二議員会館、自民党本部、総務省、国土交通省

北陸新幹線の沿線10都府県でつくる北陸新幹線建設促進同盟会など当会を含めた5団体で敦賀―新大阪間の2023年度当初の着工などを求めて中央要請を実施し、当会からは金井会長が参加した。

同盟会会長からは環境影響評価が遅れている状況を踏まえて「プロセスはしっかりと行いつつ、どう工夫し、着工を形にさせていただける予算となるか注視している」と述べられた。当会金井会長からは「金沢開業により乗客は在来線特急と比べ3倍になり、全線開業すると経済効果は年間2,700億である」と強調され「来年度当初の着工と2030年頃までの開業を是非お願いしたい」と訴えた。

加藤国土交通大臣政務官からは「PTでの決議を重く受け止めて、国交省として頑張っていきたい」と述べられた。



(担当：小玉)

### ●政府要望活動

日時：8月9日(火) 11:00-16:45

場所：東京(自民党本部、議員会館、関係省庁)

参加者：金井会長、和田総合対策委員会副委員長(金沢大学長)ほか

与党国会議員や国土交通省、経済産業省、文部科学省等の関係省庁に対して、「政府に対する北陸経済界からの要望書」をもとに要望活動を実施した。

金井会長からは、

- ・安全性が確認された原子力発電所の早期再稼働
- ・北陸新幹線の敦賀以西の2023年度当初の着工を中心に要望した。

また、和田総合対策委員会副委員長からは、

・産学官連携による人材育成に向けた支援  
・オープンイノベーションの促進、ベンチャー・スタートアップ創出に向けた地方大学支援を中心に要望した。

(要望先)

自由民主党 麻生太郎副総裁 (写真)

公明党 中川宏昌北陸信越方面本部長

経済産業省 石井正弘副大臣、多田明弘事務次官

国土交通省 藤井直樹事務次官、上原淳鉄道局長、佐々木正士郎道路局次長

文部科学省 義本博司事務次官、坂本修一審議官、千原由幸科学技術・学術政策局長



(担当：小林)

## ●外国人留学生と留学生OBとの意見交換会

日時：8月10日(水) 13:30-16:00

場所：金沢ニューグランドホテル(オンライン併催)

参加者：80名(会場56名、オンライン24名)

北陸企業の労働力不足解消、生産性向上のため、高度外国人の活躍が必要であり、その具体策の一つとして、北陸の大学に留学している外国人留学生の北陸企業への就職支援のため意見交換会が開催された。留学生は北陸の6大学より、留学生OBは北陸の11企業より参加いただいた。

冒頭、東田専務理事より挨拶があり、「外国人留学生の方々には、北陸の企業のすばらしさ、魅力を知ってもらおうこと。一方、企業の方々には留学生のすばらしさ、熱意を知ってもらうことの大切さ」について述べた。

その後、留学生、留学生OBは、それぞれ2つの会場に分かれ、コーディネーターとして、第1会場は菅原行政書士事務所の菅原先生、第2会場は金沢大学国際機構の佐藤先生のもと、活発な意見交換が行われた。

留学生からは、留学生のどのような点を評価されるか、留学生に期待されるポイントなどについて質問があり、それら質問に対し、何事にもくじけない突破力・積極性、社内での積極的なコミュニケーション力、そして海外との懸け橋となってくれることに期待している

ことなど、留学生OB、企業から丁寧な回答があった。

最後にコーディネーターお二人から総括の話があり、菅原先生からは、会社で仕事をしていく上では、人間関係が重要であること、そして、社風の良い会社を見極めるにはインターンシップなど会社を知る上でのきっかけが重要なことの話があった。佐藤先生からは、会社に入ってから日々努力していくことの大切さについて話があった。

意見交換会の合間には、留学生、大学事務局、留学生OB、企業の間で名刺交換等が行われ、意見交換会で培われたつながりが、今後の留学生の北陸企業への就職につながっていくことに期待されている。



(担当：岩田)

## 今後の行事予定

### ◆【実施】三県知事との懇談会

日時：8月24日(水) 14:00-16:30

場所：ホテル日航金沢(オンライン併催)

対象：全会員に案内済

### ◆【実施】北陸産学連携懇談会(学長懇)

日時：8月30日(火) 10:00-12:00

場所：福井工業大学

対象：大学学長、会長、副会長、委員長へ案内済

### ◆【実施】福井工業大学見学会

日時：8月30日(火) 13:00-15:30頃

場所：福井工業大学 福井キャンパス

対象：総合対策委員会委員、新たな価値創出委員会委員へ案内済

### ◆【参加者募集】北陸国際投資交流促進会議

「北陸域外での進出企業に学ぶ企業誘致勉強会」



日時：9月2日(金) 10:30-11:30

形式：オンライン開催 (Teams)

講演：「地方のアドバンテージと世界進出」

(株) F J コンポジット 代表取締役 津島 栄樹氏

申込：8月29日(月)までに下のURLから申込

<https://forms.office.com/r/KZqmQBZKdU>

(担当：岩田・森岡)

## ◆【参加者募集】人財活躍推進セミナー

「10年後の労働市場の状況と今から始めるべき企業の対応策」

さらに人手不足が深刻になっていく労働市場の10年先の状況と、企業は今からどのような対応をしなければならないのか、また、その解決策の一つとしての兼業・副業人材の受入れの重要性・メリットについて、皆さまと一緒に考えてまいります。

日時：9月12日(火) 14:00-16:40

場所：金沢ニューグランドホテル (オンライン併催)

内容：

第1部「労働市場の未来推計2030から見えた課題と対策」

中央大学 経済学部教授 阿部 正浩 氏

第2部「北陸域外からの兼業・副業による『プロフェッショナル人材』の受入れの重要性・メリットは？」

演題1「北陸地域における『新しい人材シェア』のあり方について」

(株)日本政策投資銀行 北陸支店

企画調査課副調査役 宮原 吏英子 氏

演題2「地域労働市場の将来像と企業の対応策～共創型企業・人材展開プログラムからの教訓」

金沢大学 融合科学系教授 融合学域観光デザイン学類 長 学長補佐(社会共創推進担当) 佐無田 光 氏

主催：北陸経済連合会

後援：(一社)富山県経営者協会、(一社)石川県経営者協会、福井県経営者協会

詳細：<https://www.hokkeiren.gr.jp/news/1543.html>

申込：9月2日(金)までに下のURLから申込

<https://forms.office.com/r/PgX3AECmb4>

(担当：落合・日野)

## ◆【参加者募集】三経連経済懇談会

日時：9月13日(火)～14日(水)

場所：ホテル佐勘(仙台市)

北陸・北海道・東北の3経済連合会による懇談会を仙台市にて開催する。

9月13日(火)懇談会

14日(水)視察会(福島ロボットテストフィールド、東日本大震災・原子力災害伝承館)

対象：副会長、常任理事、理事、監事へ案内済

## ◆【参加者募集】西日本経済協議会総会

日時：10月17日(月)13:30-18:10

場所：ホテル一畑(島根県松江市)

北陸、中部、関西、四国、九州、中国の6つの経済連合会で構成する西日本経済協議会の総会を開催します。

### お知らせ

## ■富山県からのお知らせ

### 企業成長×女性活躍プロジェクト推進フォーラム

富山県では性別に関わらず、一人ひとりが社会においても家庭においても自分らしく生き、ウェルビーイングを実感できる、そしてそれが企業の成長につながる。そんな県を目指して、「企業成長×女性活躍プロジェクト推進フォーラム」を開催します。

基調講演講師は、男性としてのジェンダーを社会的に研究する男性学の専門家、田中俊之氏です。

【日時】9月1日(木) 13:30-16:30

【場所】富山県民会館8階(オンライン併催)

【内容】

- ・とやま女性活躍企業認定証交付式
- ・基調講演「“男性の生きづらさ”から考える性別にとらわれない多様な生き方」  
田中俊之氏(大妻女子大学准教授)
- ・トークセッション「社員に訊く」姿勢で挑戦を支援、変革を推進  
田中俊之氏×東出悦子氏(株)アイペック代表取締役
- ・ワークショップ「自社分析と課題の具体化」(会場参加のみ)

【主催】富山県

【詳細】

<https://www.pref.toyama.jp/101703/202208forum.html>

【申込】8月26日(金)までに下のURLより申込み  
<https://pro.form-mailer.jp/lp/64caa196261706>

(担当：日野)

## ■福井労働局からのお知らせ

### 働き方改革セミナー&出張相談会

「働き方改革関連の法改正対応/魅力ある職場づくりについて」

【日時】各日程 13:30-15:30

9月12日(月) 福井商工会議所

9月13日(火) 坂井市商工会館

9月20日(火) 武生商工会議所

9月21日(水) 敦賀商工会議所



## 【内容】

13:30-15:00 セミナー

### ○福井労働局

- ・育児・介護休業法の10月改正ポイント
- ・ハラスメント防止対策
- ・女性活躍推進法に基づく取組

### ○ふくい働き方改革推進支援センター

- ・働きやすい・働きがいのある職場とは
- ・魅力ある職場づくりの取組み
- ・県内企業の取組事例
- ・働き方改革関係の助成金

15:00-15:30 出張相談会(相談会のみ参加可)

【主催】福井労働局/ふくい働き方改革推進支援センター(共催)

【申込】定員になり次第〆切。詳細は下のURLをご覧ください。

<https://jsite.mhlw.go.jp/fukui-roudoukyoku/content/contents/001219146.pdf>

【問合せ】ふくい働き方改革推進支援センター  
TEL:0120-14-4864

(担当:日野)

## ■厚生労働省からのお知らせ

### 男性の育児休業取得促進セミナー

今年4月から改正育児・介護休業法が順次施行されています。10月には「産後パパ育休」が創設され、子の出生直後に男性が育児休業を取得しやすくなり、時期や回数なども、これまで以上に柔軟な対応が可能となります。

今回のセミナーでは、企業、管理職、労働者がそれぞれの立場からの理解を深め、具体的に取るよう、対象者ごとに多彩なプログラムを設けています。対象者以外でも関心のある方はどなたでも参加できます。

【企業向け】「改正育児・介護休業法が企業に求めるもの」

期間:9月28日(水)~12月8日(木)全5回

【管理職向け】「イクボスのマネジメント手法」

期間:10月4日(火)~12月2日(金)全5回

【若年層向け】「夫婦で育児休業をとる」

期間:10月21日(金)~11月22日(火)全5回

【連続講座】「男性の育児休業がもたらす働き方の進化」

(A)〔前半〕10月7日(金)・〔後半〕10月28日(金)

(B)〔前半〕11月20日(日)・〔後半〕12月9日(金)

【申込・詳細】「イクメンプロジェクト」公式サイト

<https://mhlw.lisaplus.jp/jump.cgi?p=6&n=174>

(担当:日野)

## ■(一社)数理人材育成協会からのお知らせ

「HRAM データサイエンス応用コース」の開講

【URL】

<https://hram.or.jp/business/recurrent/pilot/pdf>

[/Advance\\_course\\_flier\\_202210.pdf](#)

【日時】10月22日~2023年3月18日

【形態】毎週木曜日 教材視聴2コマ90分+90分演習(遠隔双方向、全20週、60時間)

【内容】データサイエンス全般の知識を有し、機械学習を活用してデータに基づく問題解決、意思決定を実践できる人材を育成します。

[https://hram.or.jp/business/recurrent/pilot/pdf/Advance\\_course\\_202210.pdf](https://hram.or.jp/business/recurrent/pilot/pdf/Advance_course_202210.pdf)

【対象】学生・社会人

【受講料】100,000円(税込)

※新規受講生は自動的に10月より1年間HRAM会員となり各種e-Learningを受講頂けます。

【定員】40名

【申込】9月20日(火)まで。上記URLをご参照ください。

開講前8月27日(土)19:00からWEBガイダンスを行います。(下記URLより事前登録要)

[https://zoom.us/webinar/register/WN\\_oFWBc0kRRxS6P49vF05tYQ](https://zoom.us/webinar/register/WN_oFWBc0kRRxS6P49vF05tYQ)

【問合せ】(一社)数理人材育成協会事務局

[hram-jim@hram.or.jp](mailto:hram-jim@hram.or.jp)

(担当:坂井)

## ■ジェトロ・ホーチミン事務所からのお知らせ

### 「Japan-Vietnam Open Innovation Round Table」

ジェトロ・ホーチミン事務所は、日系企業とベトナムのスタートアップとの連携・協業の促進を目指し、「Japan-Vietnam Open Innovation Round Table」の

第1弾イベントをオフラインとオンラインのハイブリットで開催します。近年、日系企業からのベトナムのスタートアップへの投資や協業・連携に関心が高まる一方、優良スタートアップの発掘や出資判断の観点で参入障壁が高い現状があります。今回のイベントでは「ベトナム・スタートアップ企業への投資経験談」をテーマとし、ベトナム・スタートアップへの投資経験のある日系企業・日本人起業家・VCを招き、パネルディスカッションおよびラウンドテーブルを実施します。

【日時】8月30日(火)

オンライン開催:17:00-18:00(日本時間) /  
15:00-16:00(ベトナム時間)

会場:17:00-19:00(日本時間) /

15:00-17:00(ベトナム時間)

【場所】JobHopin Event Space(ホーチミン)

【定員】20名(会場) / 200名(オンライン)

【言語】日本語

【詳細】



[https://www5.jetro.go.jp/newsletter/vha/2022/InnovationTeam/220830\\_Japan-VietnamOpenInnovationRoundTable.pdf](https://www5.jetro.go.jp/newsletter/vha/2022/InnovationTeam/220830_Japan-VietnamOpenInnovationRoundTable.pdf)

【申込】8月29日(月)12:00(日本時間)/10:00(ベトナム時間)までに下のURLから申込

<https://forms.office.com/r/3uB4GpnjgB>

【問合せ】日本貿易振興機構(ジェトロ) ホーチミン事務所(担当:木原、キム)

TEL: +84-28-3821-9363

Email: [VHO-PRO@jetro.go.jp](mailto:VHO-PRO@jetro.go.jp)

(担当:小島・高道)

## ■中部経済産業局からのお知らせ

### 「通商白書・対内直接投資審査制度 合同説明会」

経済産業省では、「令和4年版通商白書」を公表しており、その中でロシアによるウクライナ侵略が世界経済に与える影響などを示しております。今後の方向性として、経済安全保障の確保や、複雑化するサプライチェーンにおけるデータ連携を通じた可視化・把握などを通じた経済成長の獲得が重要であると提言しています。

安全保障と経済を横断する領域では様々な課題が顕在化する中、政府全体として、経済安全保障の取組を強化していくことが必要になっております。

こうした状況に鑑み、外国為替及び外国貿易法(外為法)上の対内直接投資審査制度のご紹介をします。

【日時】9月8日(木)13:15-15:15

【形式】オンライン(Teams)

【主催】中部経済産業局

【内容】

#### 1. 通商白書2022について

「世界経済と日本の通商政策の未来～ウクライナ情勢と世界のトレンドを踏まえて～」

講師:経済産業省 通商政策局 企画調査室

#### 2. 外国為替及び外国貿易法(外為法)による対内直接投資審査制度について

講師:経済産業省 貿易経済協力局 国際投資管理室

【申込】9月1日(木)16:00までに下のURLより申込

[https://mm-enquete-cnt.meti.go.jp/form/pub/chubu01/20220908\\_regist](https://mm-enquete-cnt.meti.go.jp/form/pub/chubu01/20220908_regist)

【詳細】

<https://www.chubu.meti.go.jp/b62kyoten/hakusho/2022setumeikai/index.html>

【問合せ】中部経済産業局 地域経済部 国際課

TEL: 052-951-4091

(担当:高島)

以上